

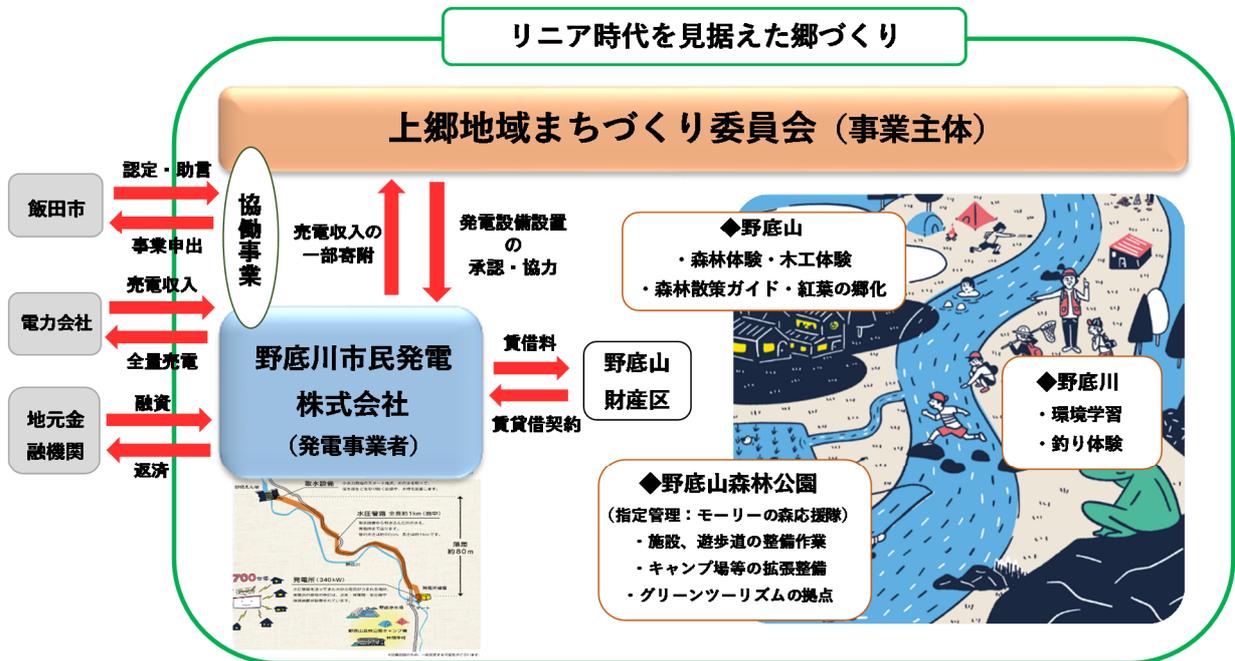
# 地域公共再生可能エネルギー活用事業認定第 22 号

## 野底川小水力発電再生可能エネルギー活用事業 概要

### 1 事業概要

- (1) 事業主体 飯田市上郷飯沼 3145 番地 1 / 上郷地域まちづくり委員会
- (2) 協力事業者 飯田市鼎下茶屋 2242-2 / 野底川市民発電株式会社
- (3) 事業実施箇所 飯田市上郷黒田 3840-7、他 9 筆
- (4) 再エネ設備概要 野底川/小水力発電/設備容量:340.0kW/年間発電量:2,120,000kWh
- (5) 事業実施期間 令和 5 (2023) 年から令和 25 年(2043)まで (予定)

### 2 事業スキーム



### 3 地域貢献寄付金の使途

- (1) 野底山の森林活用に要する費用 (森の空間を活かしたサービス)
- (2) 野底山森林公園の整備作業に要する費用 (施設・遊歩道の整備作業、キャンプ場拡張に伴う作業 他)
- (3) 野底山森林公園の活用に要する費用 (野底山紅葉の郷化、野底山の自然保護、野底川での環境学習)

#### 4 地域の合意形成と飯田市再生可能エネルギー導入支援審査会での審査経過

- (1) 平成 26 年～ 上郷地域基本構想・基本計画の「リニア時代を見据えた郷づくり」のひとつである、豊かな自然と景観の保全と活用の具体的な方針として、野底川の豊富な水量を活かした小水力発電の研究を掲げ、野底川を活用した小水力発電の検討を開始
- (2) 平成 29 年 8 月 おひさま社より上郷地域まちづくり委員会役員会に対し、野底川における小水力発電事業の構想を説明
- (3) 令和 2 年 8 月 おひさま社より上郷地域まちづくり委員会に対し、同社が実施した野底川小水力発電事業に関する可能性調査や計画の進捗状況について報告。小水力発電事業に対する理解を深めたあとに協働事業についてより詳細に検討することを決定
- (4) 令和 2 年 11 月 野底山財産区・上郷地域まちづくり委員会とおひさま社が小水力発電事業に対する講演会を共催
- (5) 令和 2 年 12 月 小水力発電に対する理解を深めるため、上郷地域まちづくり委員会役員にて長野県内の小水力発電所の事例を視察
- (6) 令和 3 年 3 月 おひさま社が上郷地域の住民を対象に事業説明会を実施
- (7) 令和 3 年 9 月 まちづくり委員会役員会にて、野底川市民発電社より最終の説明がなされ、まちづくり委員会として事業を実施する旨合意
- (8) 令和 4 年 3 月 まちづくり委員会及び野底川市民発電が飯田市に事業認定を申出。飯田市再生可能エネルギー導入支援審査会は、審査の結果、認定すべき旨を答申

#### 5 飯田市再生可能エネルギー導入支援審査会での事業評価

- (1) 本件事業は、地域に賦存する再生可能エネルギー資源を地域住民が自ら活用することを通じて、電力のグリーン化に寄与するとともに、本件事業から発生する地域貢献寄附金をもとにまちづくり委員会が計画する地域振興策が進められることにより、地域コミュニティの活性化及び地域の環境価値の向上に繋がり、飯田市の総合計画「いいだ未来デザイン 2028」及び環境基本計画「21' いいだ環境プラン」に寄与するものといえる。
- (2) 本件事業の事業計画及び資金運用計画は、野底川市民発電の出資会社であるおひさま進歩エネルギー株式会社のノウハウを活用して作成されたものであり、おひさま進歩エネルギー株式会社は過去に複数の地域公共再生可能エネルギー活用事業を実施してきた実績を持つことから、安定的に運用される可能性が十分に高いものといえる。
- (3) 本件事業は、野底山及び野底山森林公園の有効活用に向けた取組がさらに進む事業であり、環境教育の充実にもつながる事業であるため、当該地域の発展に寄与するものといえる。